

令和3年度報告  
地域型住宅グリーン化事業  
(ゼロ・エネルギー住宅型)  
〈居住者アンケート調査報告〉

令和4年3月

一般社団法人 環境共生住宅推進協議会  
地域型住宅グリーン化事業・高度省エネ型等実施支援室

1

令和3年度報告の内容

- I. アンケート調査の概要
- II. 調査結果
  - 1. 居住者の概要
  - 2. 現在の住宅の概要
  - 3. 現在の住宅の満足度
  - 4. 見える化設備
  - 5. ゼロエネルギー・省エネルギーへの行動

2

# 1. アンケート調査の概要

## (1) アンケート調査の対象

平成27年度から平成30年度に地域型住宅グリーン化事業（ゼロエネルギー住宅）に採択された事業のうち、竣工後1年以上を経過した住宅。

## (2) 調査方法

平成27年度・平成28年度年度採択事業については、事業者を通じて居住者にアンケート票を送付・回収。

平成29年度以降採択事業は、Webアンケート形式とし事業者を通じて入居者に案内を送付。

## (3) アンケート回収状況

事業年度	対象事業数	配布・案内	回収
平成27年度事業	1,410	1,402	1,113
平成28年度事業	1,544	1,515	1,080
平成29年度事業	1,356	1,352	1,039
平成30年度事業	1,241	1,241	1,081
計	5,551	5,510	4,313

# 1. アンケート調査の概要

## (4) アンケート項目

大項目	主なアンケート内容
(1) 回答者属性	年齢、居住人数、居住者の構成、世帯年収、在宅(不在)状況
(2) 現在の住まいについて	概要：所有機器、間取り、リビングの広さ、吹き抜けの有無 種類：使用暖房機器 暖冷房：暖冷房方法、暖冷房の頻度 入浴：湯はりとシャワー日数、入浴回数 光熱費：以前の住まいと比較した光熱費の増減 形式：以前の住まいの形式、以前の住まいの築年数
(3) 現在の住まいの満足度について	以前の住まいと比較して現在の住まいの満足度、不満な点を具体的に記入
(4) 見える化設備について	設備の有無、設備の種類、確認頻度の変化、確認しない理由
(5) 省エネ行動について	実践している省エネ・ゼロエネ行動
(6) その他	感想、意見等（自由記入）

## Ⅱ. 調査結果

### 1. 居住者の概要

- (1) 回答者の年齢
- (2) 居住人数
- (3) 居住者の構成
- (4) 世帯年収
- (5) 不在状況

### 2. 現在の住宅の概要

- (1) リビングの広さ
- (2) リビングの吹抜けの有無
- (3) 主寝室、その他の寝室の数
- (4) リビングの暖冷房
  - ①暖房設備の種類
  - ②暖房設備の運転方法
  - ③冷房設備の運転方法
- (5) 主寝室の暖冷房
  - ①暖房設備の種類
  - ②暖房設備の運転方法
  - ③冷房設備の運転方法

### (6) 入浴の方法

- ①冬の湯張り日数、シャワーのみ日数
- ②夏の湯張り日数、シャワーのみ日数

### (7) 光熱費の変化

- ①暖房費用の変化
- ②冷房費用の変化

### 3. 現在の住宅の満足度

- (1) テーマごとの満足度
- (2) 地球温暖化防止・省エネルギーへの貢献に対する満足度
- (3) 光熱費に対する満足度
  - ①満足度
  - ②光熱費に満足度と従前住宅の形式
  - ③光熱費の満足度と従前住宅の建設時期
- (4) 冬期、暖房していない時（無暖房時）の快適性に対する満足度
  - ①満足度
  - ②無暖房時の満足度と従前住宅の形式

## Ⅱ. 調査結果

### (5) 冬期、暖房している時（暖房時）の快適性に対する満足度

- ①満足度
- ②暖房時の満足度とリビング吹抜けの有無
- ③暖房時の満足度と暖房設備（リビング）の運転方法
- ④暖房時の満足度と従前住宅の形式

### (6) 夏期、冷房していない時（無冷房時）の快適性に対する満足度

- ①満足度
- ②無冷房時の満足度と従前住宅の形式

### (7) 夏期、冷房している時（冷房時）の快適性に対する満足度

- ①満足度
- ②冷房時の満足度とリビング吹抜けの有無
- ③冷房時の満足度と冷房設備（リビング）の運転方法
- ④冷房時の満足度と従前住宅の形式

### 4. 見える化設備

- (1) 見える化設備の端末の種類
- (2) 見える化設備の確認頻度の変化
- (3) 見える化設備を見ない／見なくなった理由

### 5. ゼロエネルギー、省エネルギーへの行動

# 1. 居住者の概要

## (1) 回答者の年齢

アンケートへの回答者の年齢は、4か年計で30歳代が49.4%で約半数を占め、40歳代29.3%、50歳代8.2%、60歳以上7.3%、20歳代4.7%である。H30年度事業では、他事業年度に比べ20歳代から40歳代の合計の比率が84.9%と最も高くなった。

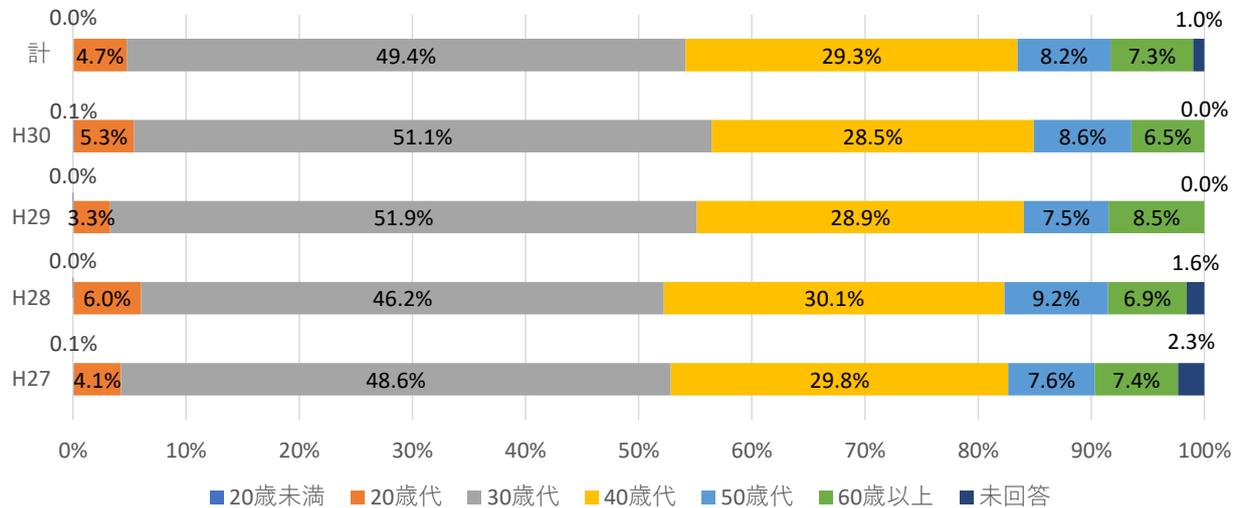


図1.1 回答者の年齢

# 1. 居住者の概要

## (2) 居住人数

居住人数（世帯規模）は、4か年計で4人39.8%で最も多く、3人25.2%、5人14.2%となり、3人~5人世帯が79.2%を占める。各年とも同様の傾向である。

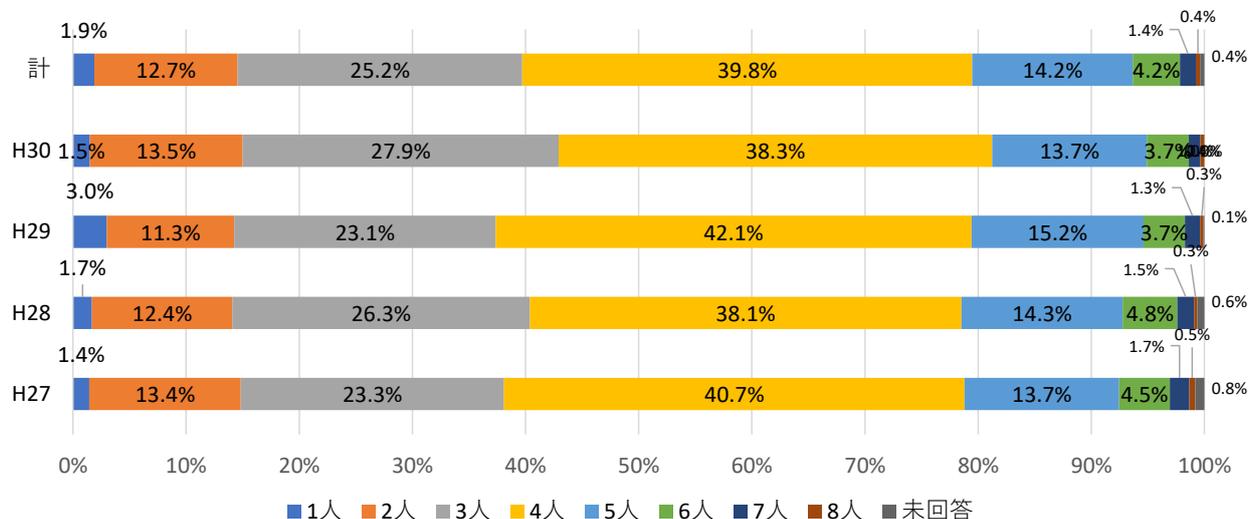


図1.2 居住人数

# 1. 居住者の概要

## (3) 居住者の構成

居住者の構成は、4か年計で、就労者47.9%、中学生2.6%、高校生1.8%、大学生0.9%となり、**外出する活動が多いと考えられる居住者は計53.1%**である。また、未就学児23.3%、小学生12.3%、その他11.3%となり、**住宅での生活時間が長いと考えられる居住者は計46.9%**である。各年とも同様の傾向である。

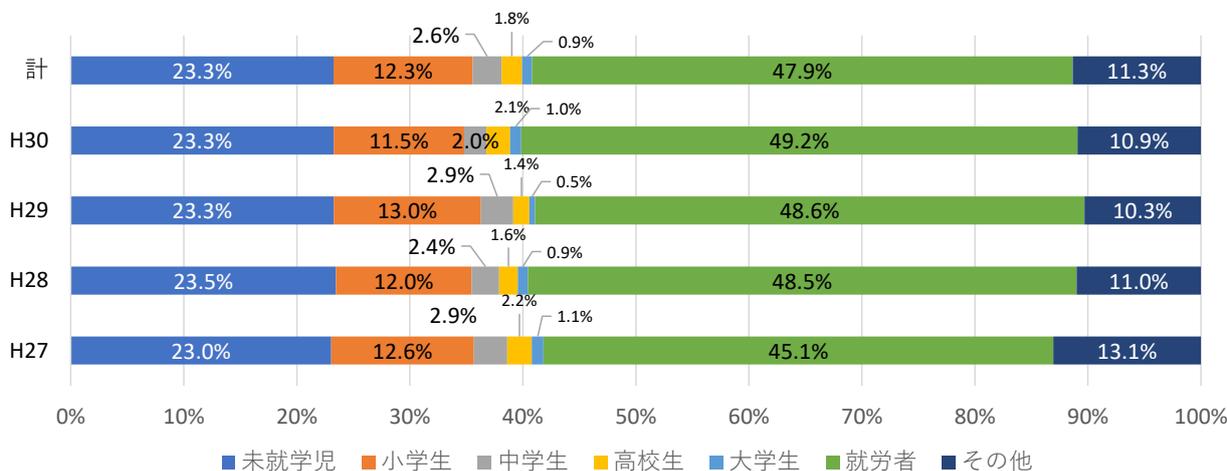


図1.3 居住者の構成

# 1. 居住者の概要

## (4) 世帯年収

居住者の世帯年収は、4か年計で、600万円以上800万円未満が39.8%で最も多く、400万円以上600万円未満25.2%、800万円以上1,000万円未満が13.7%であり、**世帯年収800万円未満が79.5%**となった。H30事業では600万円未満が39.7%となり4か年の中では最も多くなった。

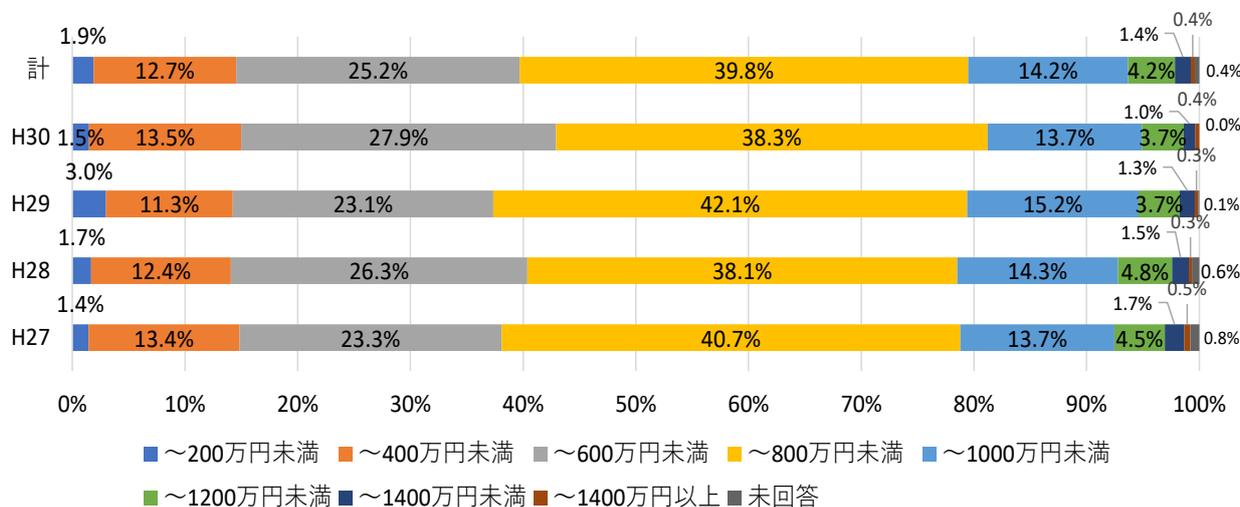


図1.4 世帯年収

# 1. 居住者の概要

## (5) 不在状況

一週間のうち家族が不在となる日数は、4か年計で、5日の世帯32.7%で最も多く、週のうち半分以上にあたる4日以上不在となる世帯が計46.0%である。逆に不在となる日数が0日の世帯は26.2%である。各年とも同様の傾向である。

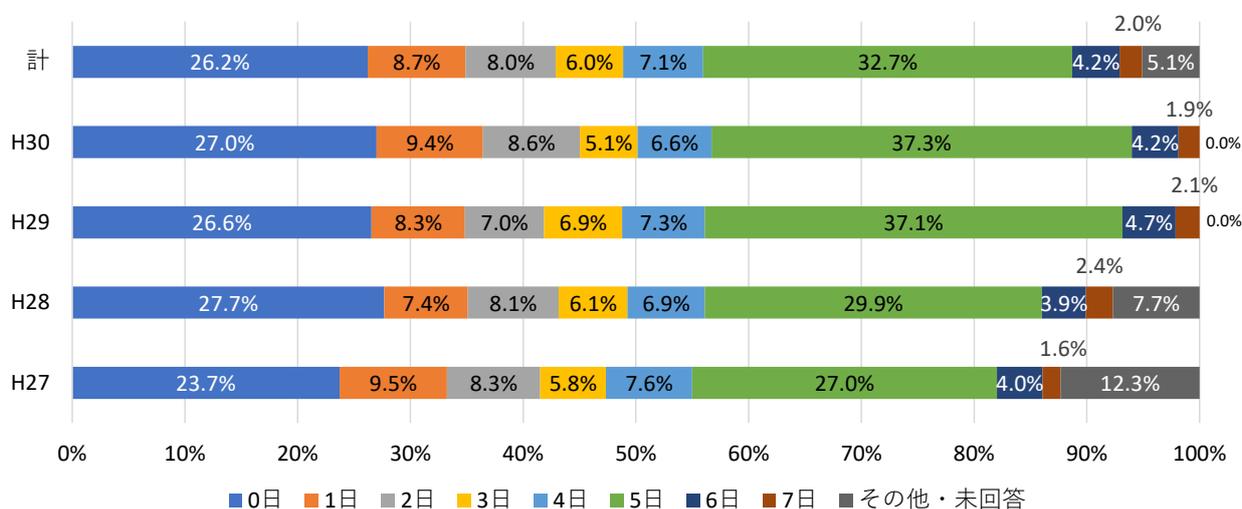


図1.5 週のうちの不在状況

# 2. 現在の住宅の概要

## (1) リビングの広さ

リビングの広さは、4か年計で、15畳以上20畳未満が37.4%と最も多く、20畳以上25.4%、12畳以上15畳未満18.3%、8畳以上12畳未満13.4%である。15畳以上の大きなリビングのある世帯が62.8%と過半数を超える。各年とも同様の傾向である。

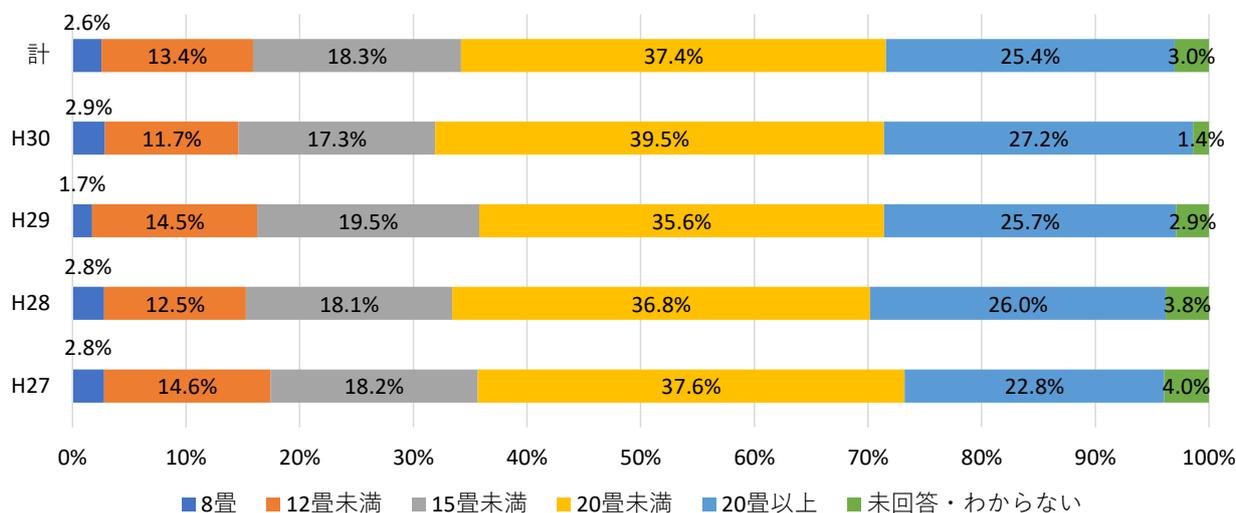


図2.1 リビングの広さ

## 2. 現在の住宅の概要

### (2) リビングの吹抜けの有無

リビングの吹抜けについては、4か年計で、吹抜けのある住宅が42.8%、吹抜けの無い住宅が56.2%である。各年度とも同様の傾向である。

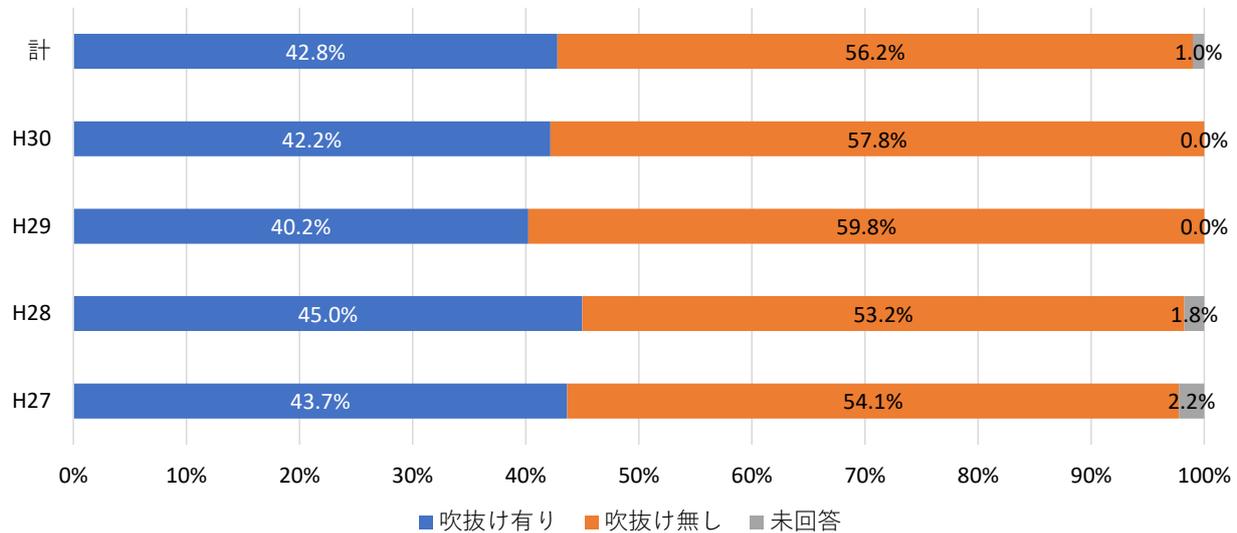


図2.2 リビングの吹抜けの有無

## 2. 現在の住宅の概要

### (3) 主寝室、その他の寝室（子供室含む）の数

リビング以外の寝室の数については、4か年計で、3室が42.7%、4室23.5%、2室19.3%である。H30年度事業は、他年度に比べ3室の割合が46.8%となり若干多くなっている。

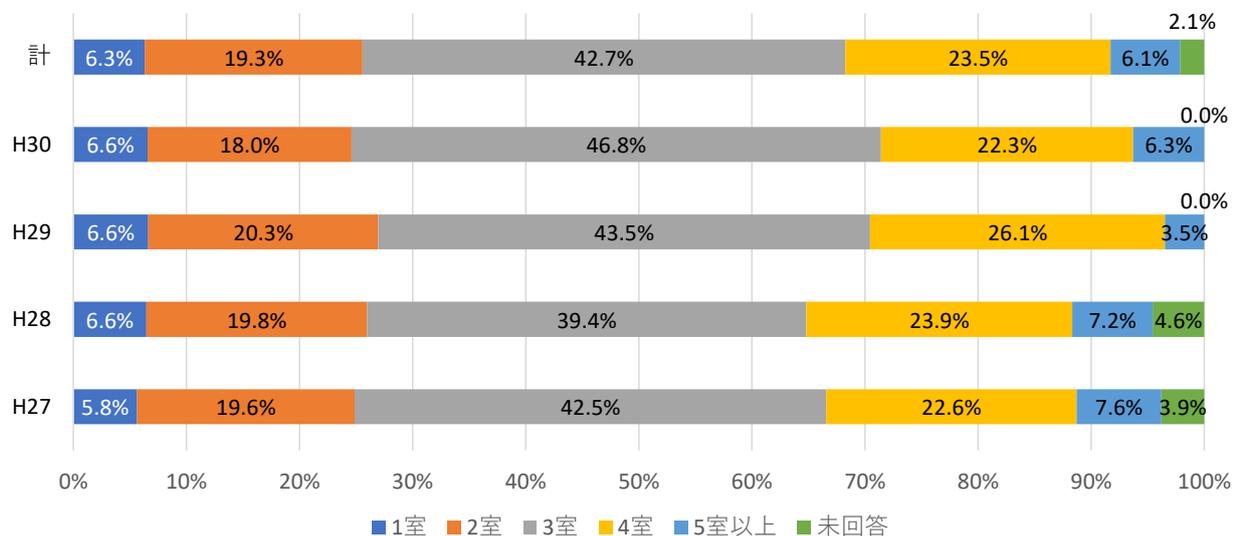


図2.3 寝室の数（子供室を含む）

## 2. 現在の住宅の概要

### (4) リビングの暖冷房 ①暖房設備の種類

リビングの暖房設備は、4か年計で、**93.8%**が**ルームエアコン**を採用、電気こたつ8.8%、電気カーペット8.6%石油ファンヒーター等3.4%、電気温水式床暖房3.3%である。**床暖房を設置した住宅は6.8%**（電気温水式3.3%、ガス温水式2.0%、方式不明1.5%）であった。**ルームエアコンと補助暖房を併用する住宅は32.7%**。**床暖房を併設する住宅は6.5%**で、その他は主に電気暖房機器（電気こたつ、電気カーペット、電気ストーブなど）を併用している。

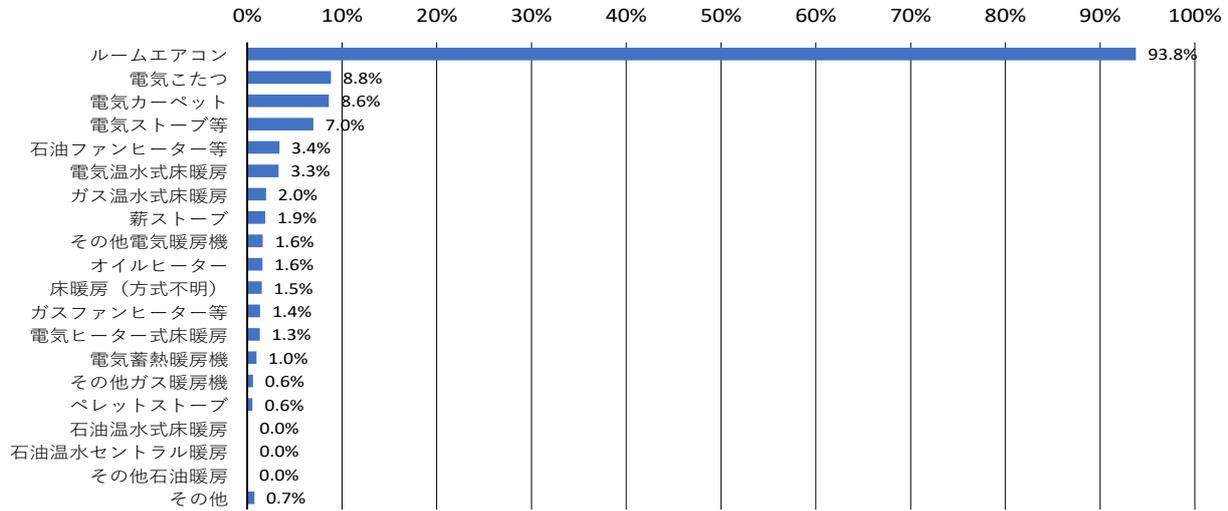


図2.4① リビングの暖房設備の種類

## 2. 現在の住宅の概要

### (4) リビングの暖冷房 ②暖房設備の運転方法

リビングの暖房設備の運転方法は、4か年計で、**連続的な運転が36.3%**、**間欠的な運転が62.2%**、**使用しないが1.0%**である。年度ごとでは、平成27年度事業以降、徐々に**連続的な運転が増加し**、**H30年度事業では40.5%**と最も多くなった。

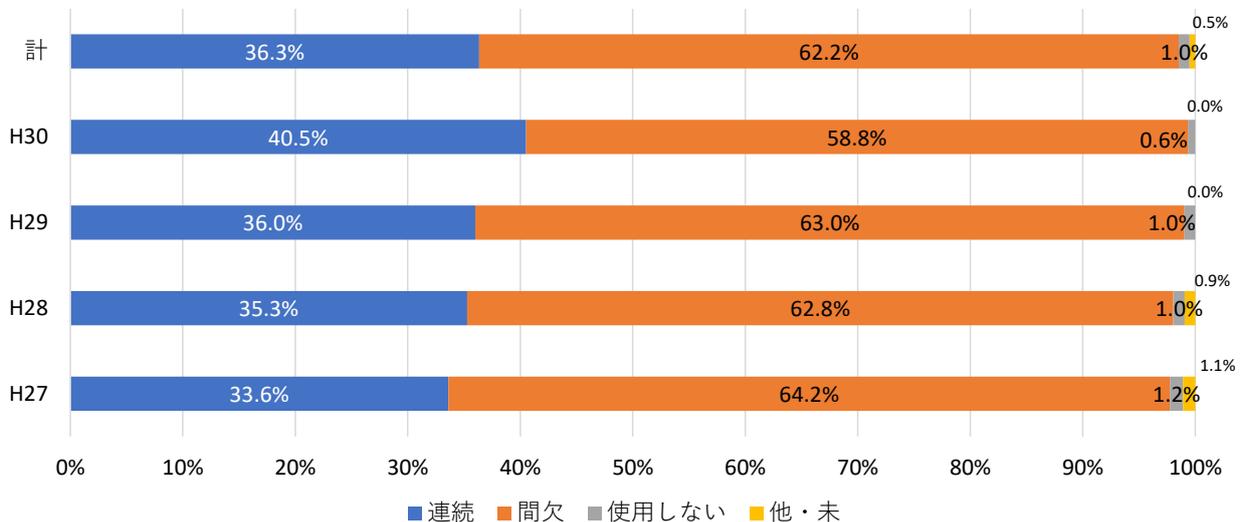


図2.4② リビングの暖房設備の運転方法

## 2. 現在の住宅の概要

### (4) リビングの暖冷房 ③冷房設備の運転方法

リビングの冷房の運転方法は、4か年計で、**連続的な運転が40.7%**、**間欠的な運転が56.7%**、**使用しないが2.0%**である。年度ごとでは、平成27年度事業以降、徐々に**連続的な運転が増加し**、**H30年度事業では45.0%**と最も多くなった。

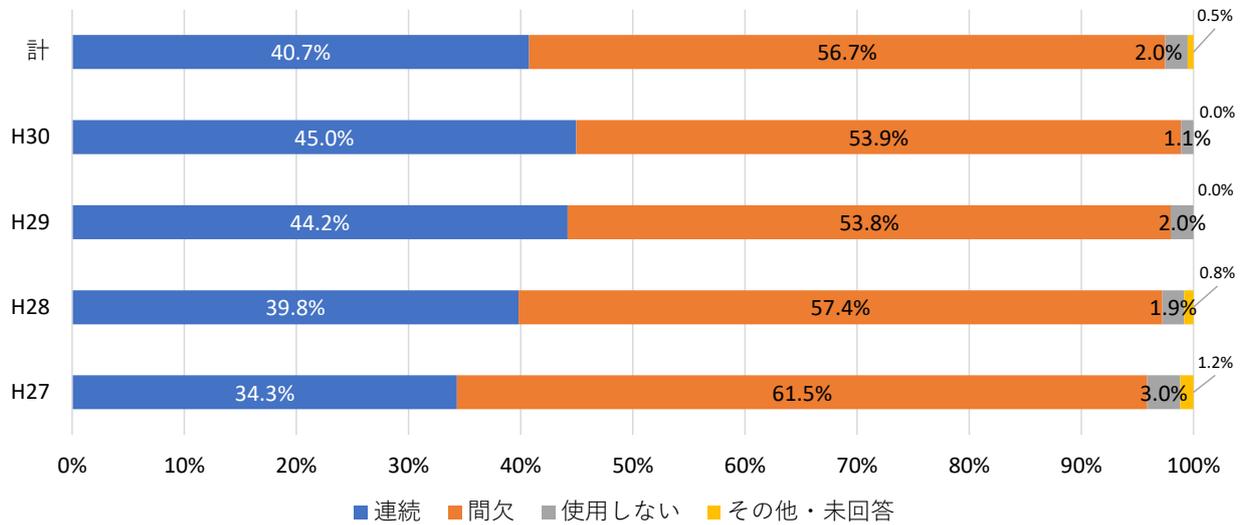


図2.4③ リビングの冷房設備の運転方法

## 2. 現在の住宅の概要

### (5) 主寝室の暖冷房 ①暖房設備の種類

主寝室の暖房設備は、4か年計で、**87.2%がルームエアコン**を採用、電気ストーブ等3.1%、オイルヒーター1.9%、その他の電気暖房機1.7%である。

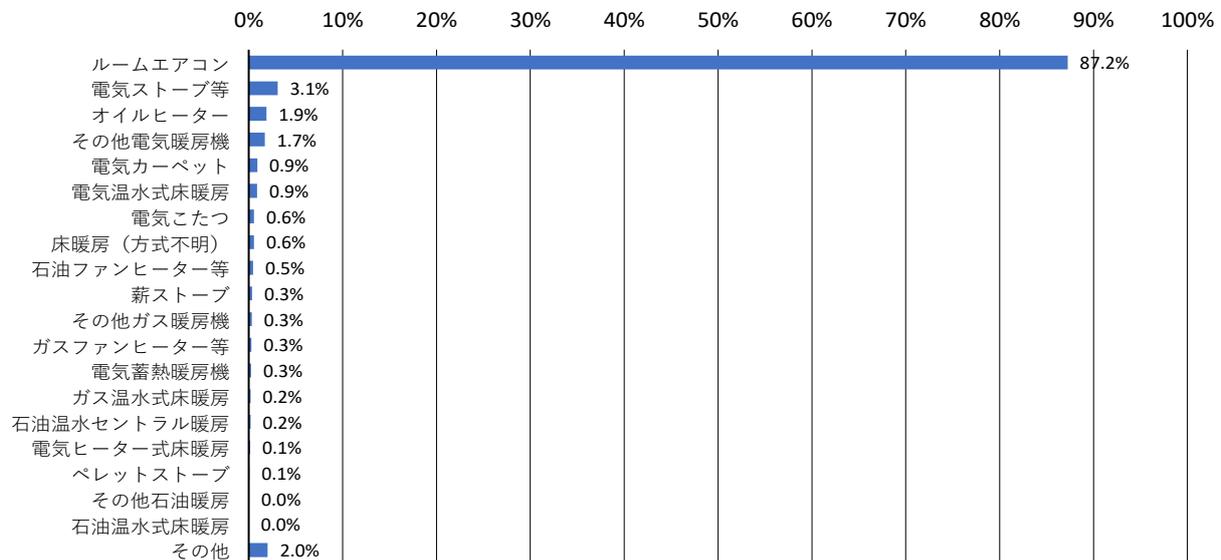


図2.5① 主寝室の暖房設備の種類

## 2. 現在の住宅の概要

### (5) 主寝室の暖冷房 ②暖房設備の運転方法

主寝室の暖房設備の運転方法は、4か年計で、連続的な運転が12.8%、間欠的な運転が60.9%、使用しないが25.2%である。リビングに比べ、使用しない比率が増加し、連続的な運転が減少している。各年度では、H30年度事業では連続的な運転が15.0%となり最も多くなった。

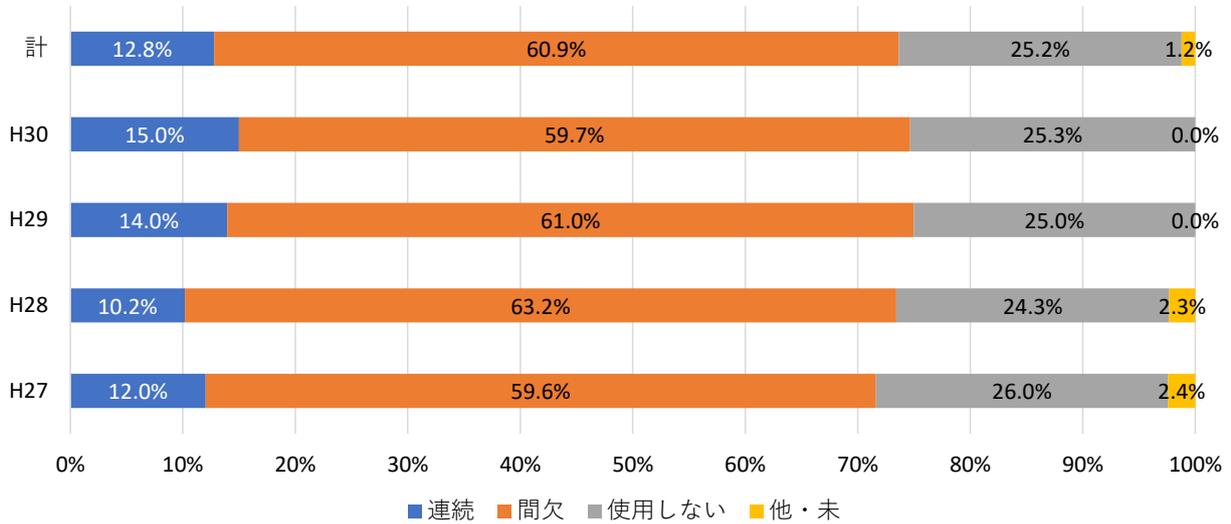


図2.5② 主寝室の暖房設備の運転方法

## 2. 現在の住宅の概要

### (5) 主寝室の暖冷房 ③冷房設備の運転方法

主寝室の冷房設備の運転方法は、4か年計で、連続的な運転が13.6%、間欠的な運転が70.5%、使用しないが14.8%である。H30年度事業では連続的な運転が17.2%と、他年度事業に比べ比率が高まっている。

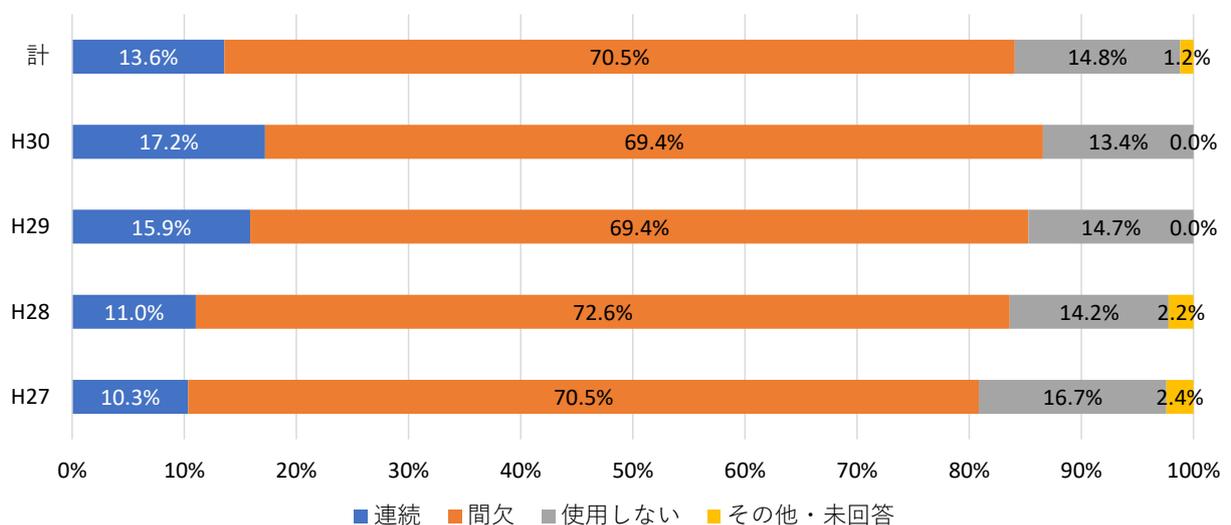


図2.5③ 主寝室の冷房設備の運転方法

## 2. 現在の住宅の概要

### (6) 入浴の方法 ①冬の湯張り日数、シャワーのみ日数

4か年計で、冬の一週間のうちの湯張り日数は「7日」79.2%が最も多い。  
シャワーのみ日数は「0日」77.5%が最も多い。各年とも同様の傾向である。

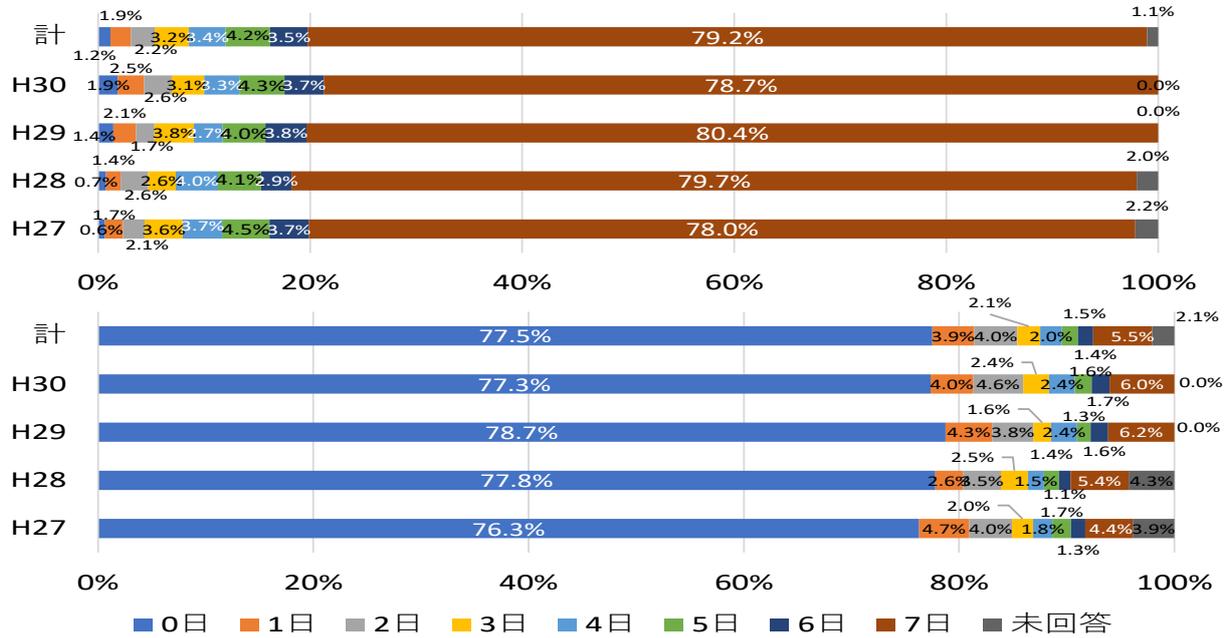


図2.6① 冬の湯張り日数（上）とシャワーのみ日数（下）

## 2. 現在の住宅の概要

### (6) 入浴の方法 ②夏の湯張り日数、シャワーのみ日数

4か年計で、夏の一週間のうちの湯張り日数は「7日」52.9%が最も多い。シャワーのみ日数は「0日」50.2%が最も多く、「7日」19.6%である。

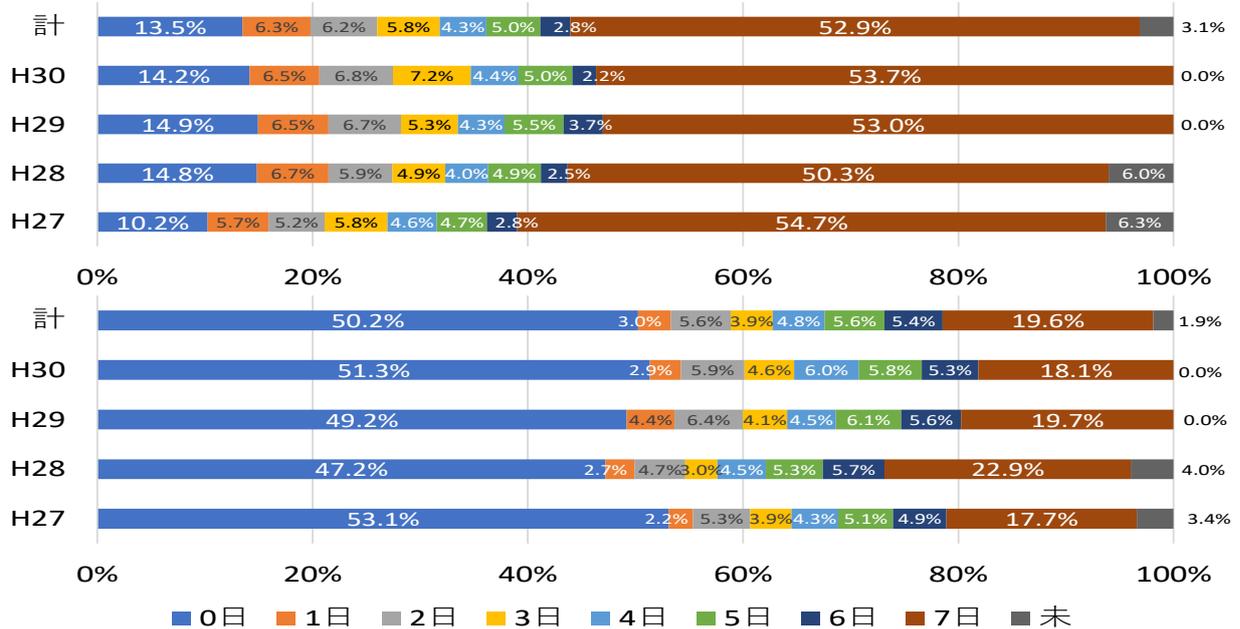


図2.6② 夏の湯張り日数（上）とシャワーのみ日数（下）

## 2. 現在の住宅の概要

### (7) 光熱費の変化 ①暖房費用の変化

以前の住宅の暖房費用との比較について、4か年計で、「安くなった」が78.7%、「変わらない」11.2%、「高くなった」8.6%である。H29年度事業、H30年度事業では「安くなった」が80%を超えた。

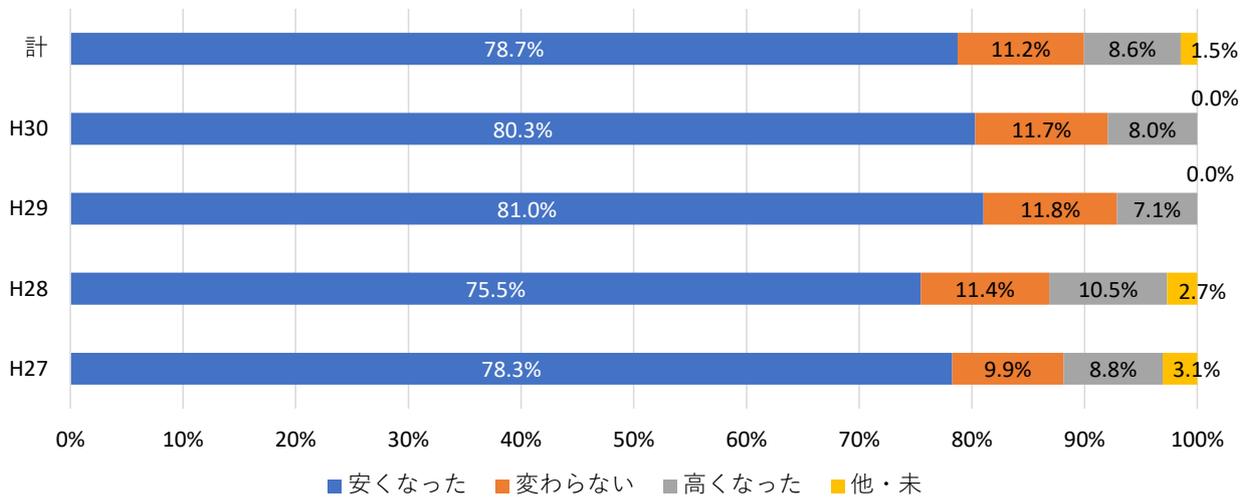


図2.7① 暖房費用の変化

## 2. 現在の住宅の概要

### (7) 光熱費の変化 ②冷房費用の変化

以前の住宅の冷房費用との比較について、4か年計で、「安くなった」が81.8%、「変わらない」10.7%、「高くなった」6.0%である。H29年度事業、H30年度事業では「安くなった」が83%を超えた。

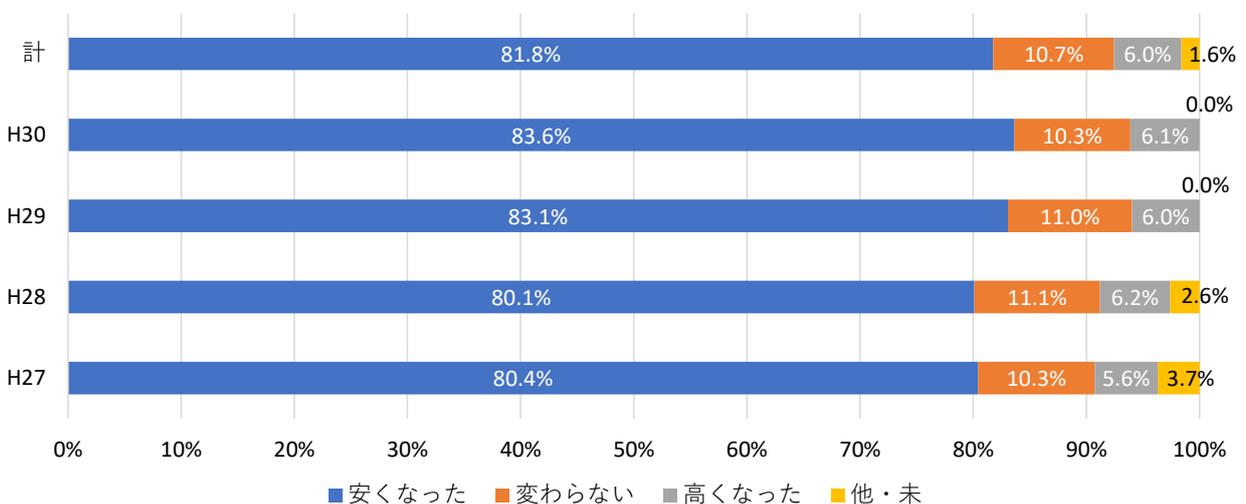


図2.7② 冷房費用の変化

### 3. 現在の住宅の満足度

#### (1) テーマごとの満足度

4か年計で、各テーマとも、「かなり満足」が50%超、「まあ満足」が30%程度である。「やや不満」が数%あるものの、「不満」はほぼない。

特に「暖房時の快適性」「冷房時の快適性」については「かなり満足」が60%超、また「温暖化防止・省エネ貢献」については「かなり満足」が55.6%となっている。

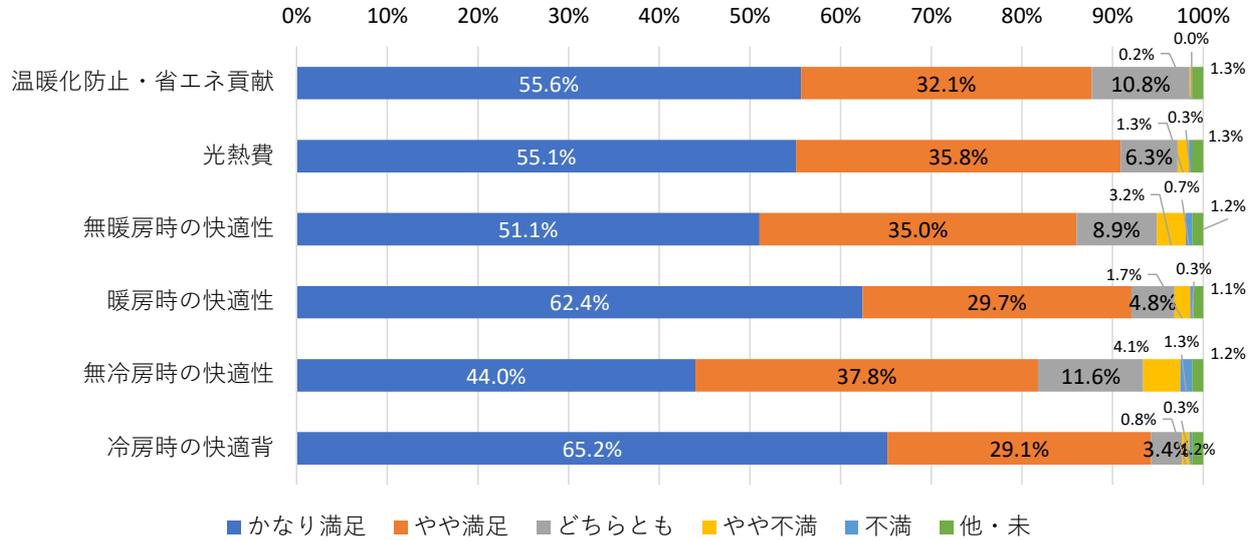


図3.1 テーマごとの満足度

### 3. 現在の住宅の満足度

#### (2) 地球温暖化防止・省エネルギーへの貢献に対する満足度

4か年計で、「かなり満足」55.6%、「まあ満足」32.1%、「やや不満」0.2%、「不満」1.3%であり、87.7%が満足と回答している。H30年度事業では「かなり満足」と「まあ満足」の合計が90.2%と最も多くなった。

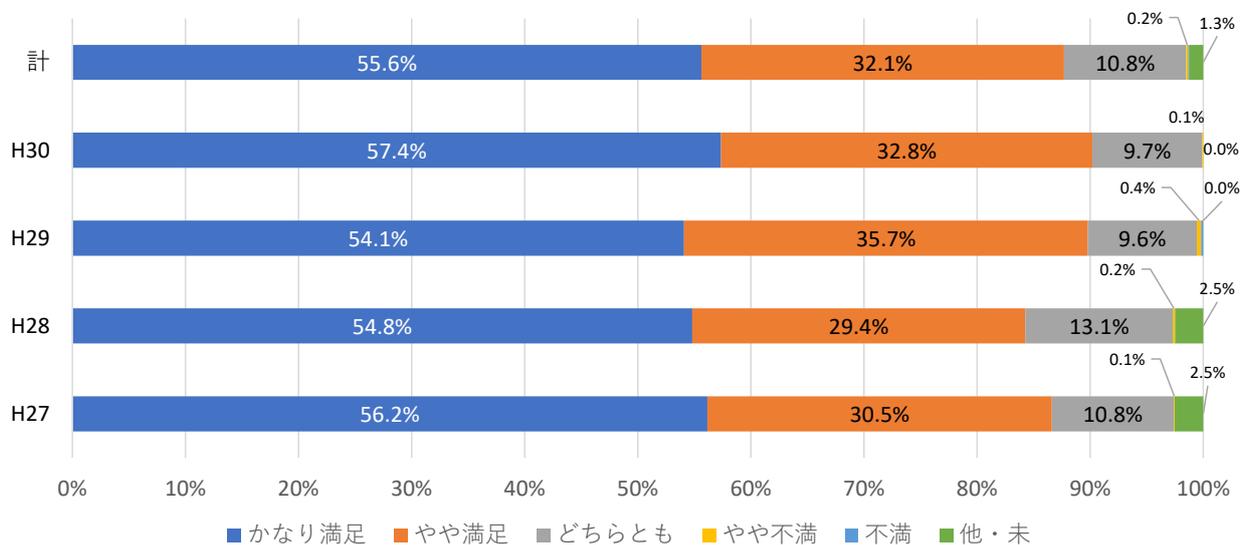


図3.2 地球温暖化防止・省エネへの貢献に対する満足度

### 3. 現在の住宅の満足度

#### (3) 光熱費に対する満足度

##### ①満足度

光熱費に対する満足度は、4か年計で、「かなり満足」55.1%、「まあ満足」35.8%、「やや不満」1.3%、「不満」0.3%であり、90.9%が満足と回答している。H30年度事業では「かなり満足」「やや満足」の合計が92.7%と最も多くなった。

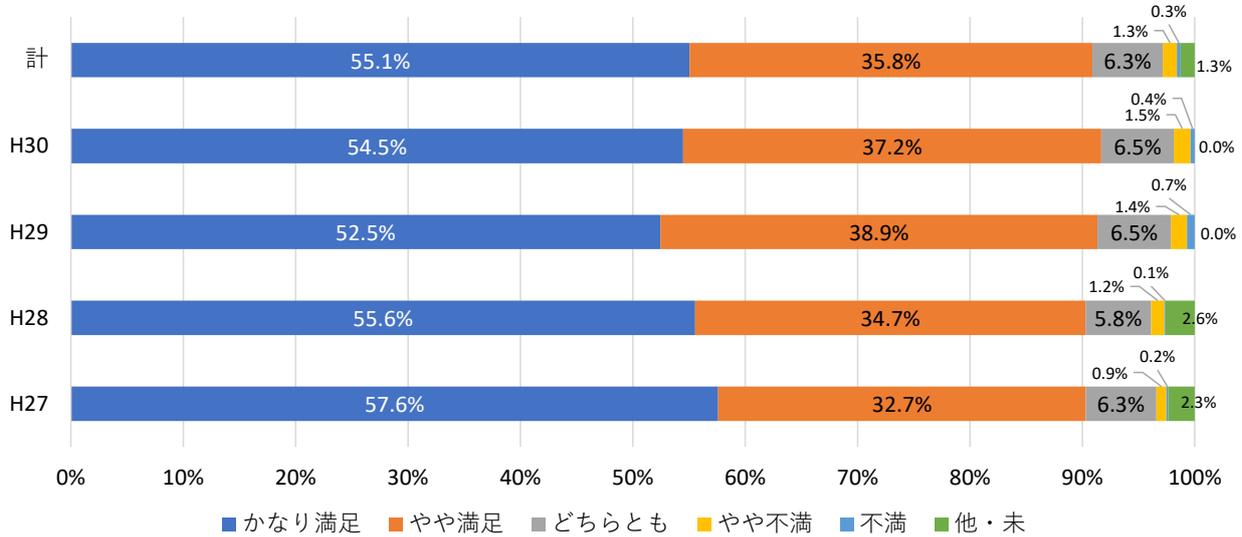


図3.3① 光熱費に対する満足度

### 3. 現在の住宅の満足度

#### (3) 光熱費に対する満足度

##### ②光熱費の満足度と従前住宅の形式

光熱費に対する満足度を従前住宅の形式別にみると、「かなり満足」がー戸建59.2%、マンション50.3%、低層アパート53.2%となり、従前がー戸建ての場合の「かなり満足」の回答の比率が最も高くなっている。

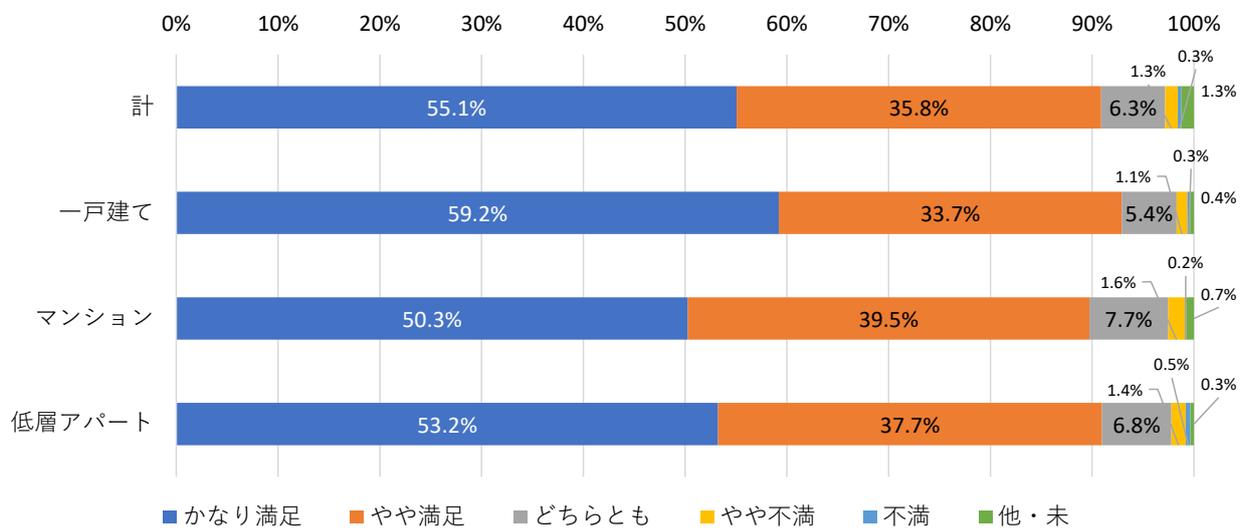


図3.3② 光熱費の満足度と従前住宅の形式

### 3. 現在の住宅の満足度

#### (3) 光熱費に対する満足度

##### ③光熱費の満足度と従前住宅の建築時期

光熱費に対する満足度を従前住宅の建設時期別にみると、**建設時期が古いほど満足度が高くなる傾向がみられ、「かなり満足」は1979年以前に建設された住宅では61.4%、2005年以降に建設された住宅では53.6%になっている。**

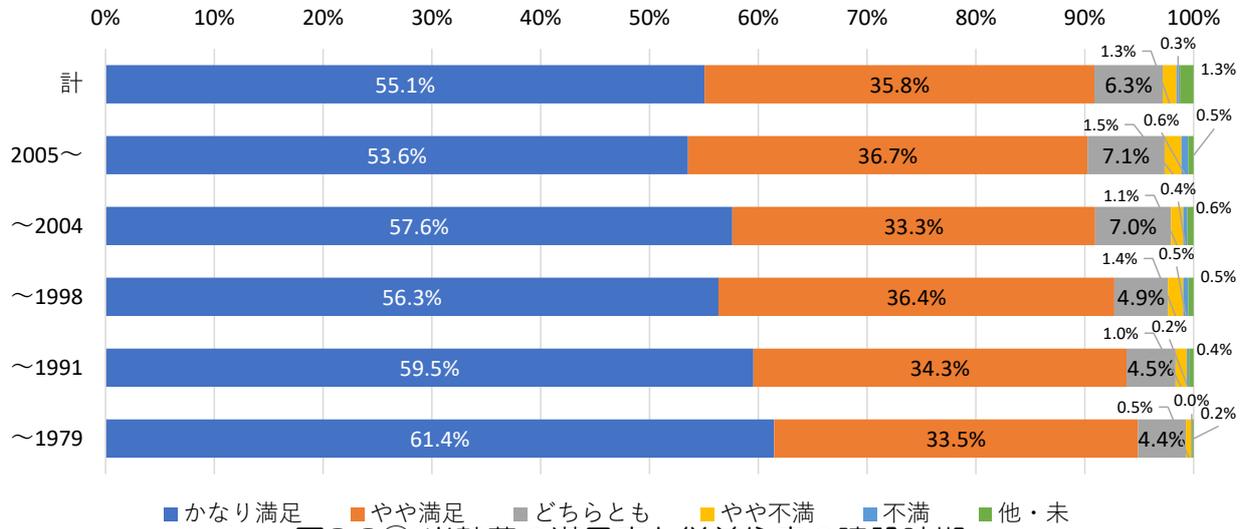


図3.3③ 光熱費の満足度と従前住宅の建設時期

### 3. 現在の住宅の満足度

#### (4) 冬期、暖房していない時（無暖房時）の快適性に対する満足度

##### ①満足度

無暖房時の快適性に対する満足度は、4か年計で、「かなり満足」51.1%、「まあ満足」35.0%、「やや不満」3.2%、「不満」0.7%であり、**86.1%が満足と回答している。**各年度とも同様の傾向である。

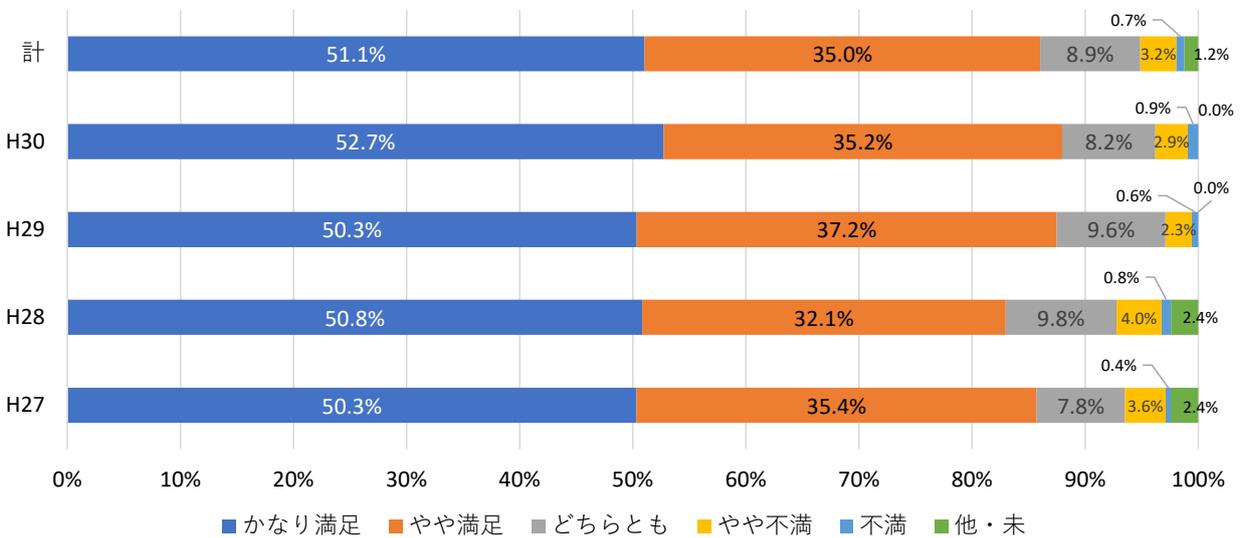


図3.4① 無暖房時の快適性に対する満足度

### 3. 現在の住宅の満足度

#### (4) 冬期、暖房していない時の快適性に対する満足度

##### ②無暖房時の満足度と従前住宅の形式

無暖房時の快適性に対する満足度を従前住宅の形式別にみると、一戸建ては「かなり満足」55.7%、「まあ満足」33.4%、「やや不満」2.2%、「不満」0.6%であり、89.1%が満足と回答している。マンションや低層アパートよりも若干満足度が高く、不満も少ない。

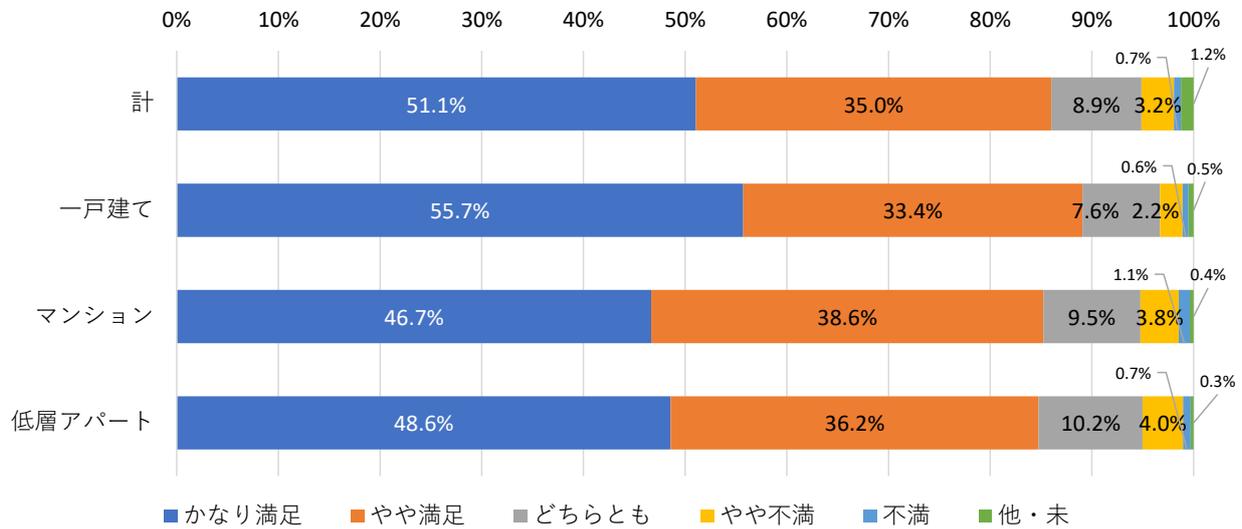


図3.4② 無暖房時の満足度と従前住宅の形式

### 3. 現在の住宅の満足度

#### (5) 冬期、暖房している時（暖房時）の快適性に対する満足度

##### ①満足度

暖房時の快適性に対する満足度は、4か年計で「かなり満足」62.4%、「まあ満足」29.7%、「やや不満」1.7%、「不満」0.3%であり、92.1%が満足と回答している。無暖房時より満足度が高い。各年度とも同様の傾向である。

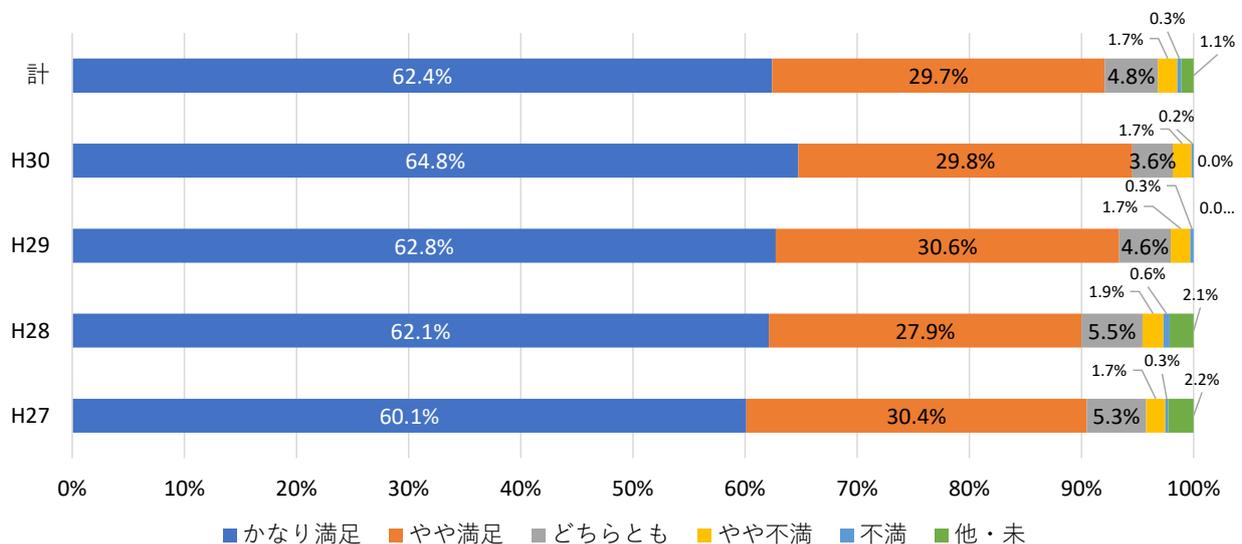


図3.5① 暖房時の快適性に対する満足度

### 3. 現在の住宅の満足度

#### (5) 冬期、暖房している時（暖房時）の快適性に対する満足度

##### ②暖房時の満足度とリビングの吹抜けの有無

暖房時の快適性に対する満足度をリビングの吹抜けの有無別にみると、「かなり満足」は吹抜け有と吹抜け無ともに62.5%、「まあ満足」は吹抜け有28.7%、吹抜け無30.3%であり、ほぼ同様の傾向となった。

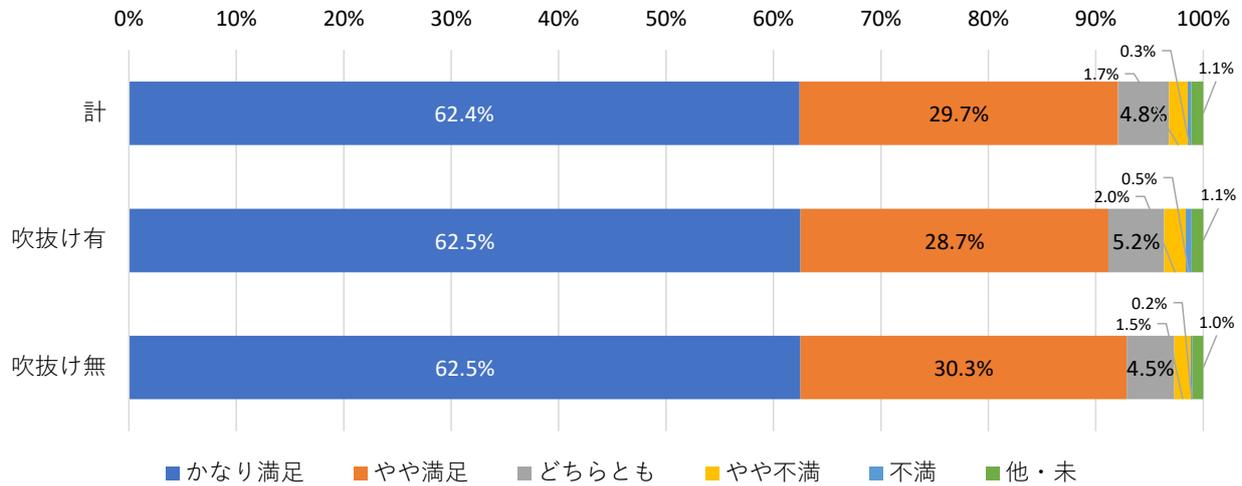


図3.5② 暖房時の満足度とリビングの吹抜けの有無

### 3. 現在の住宅の満足度

#### (5) 冬期、暖房している時（暖房時）の快適性に対する満足度

##### ③暖房時の満足度と暖房設備（リビング）の運転方法

暖房時の快適性に対する満足度を暖房設備の運転方法別にみると、連続的に運転する場合で「かなり満足」65.5%、「まあ満足」26.7%であり、間欠的に運転する場合に比べ「かなり満足」の比率が若干高くなった。また暖房設備を使用しない場合は「かなり満足」が73.2%と高い割合である。

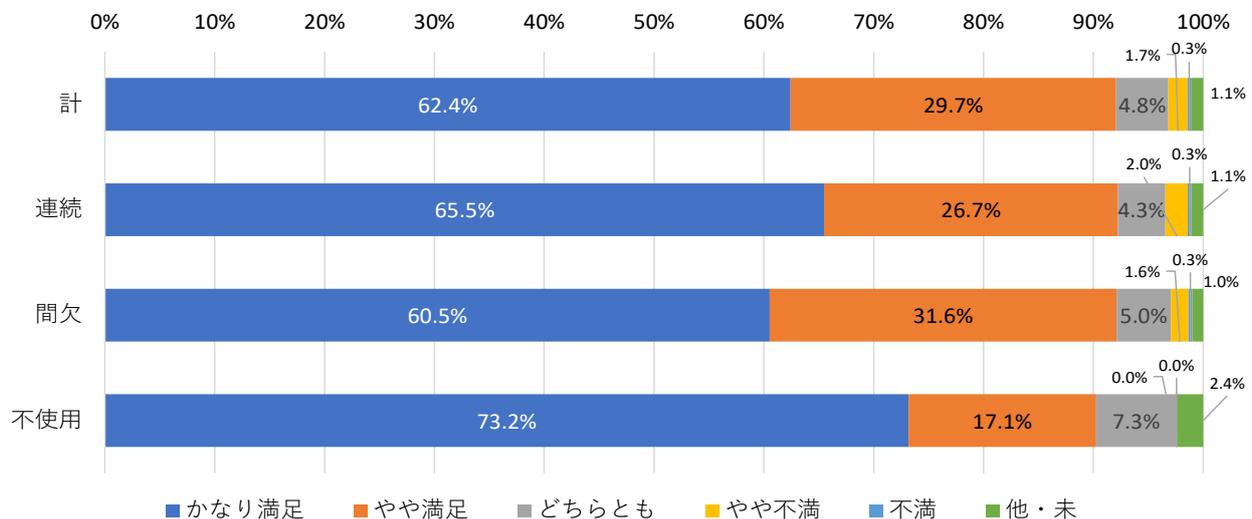


図3.5③ 暖房時の満足度と暖房設備（リビング）の運転方法

### 3. 現在の住宅の満足度

#### (5) 冬期、暖房している時（暖房時）の快適性に対する満足度

##### ④暖房時の満足度と従前住宅の形式

暖房時の快適性に対する満足度を従前住宅の形式別にみると、**一戸建ては「かなり満足」65.8%、「まあ満足」28.3%、「やや不満」1.3%、「不満」0.2%であり、94.1%が満足と回答している。**無暖房時と同様に、マンションや低層アパートよりも若干満足度が高く、不満も少ない。

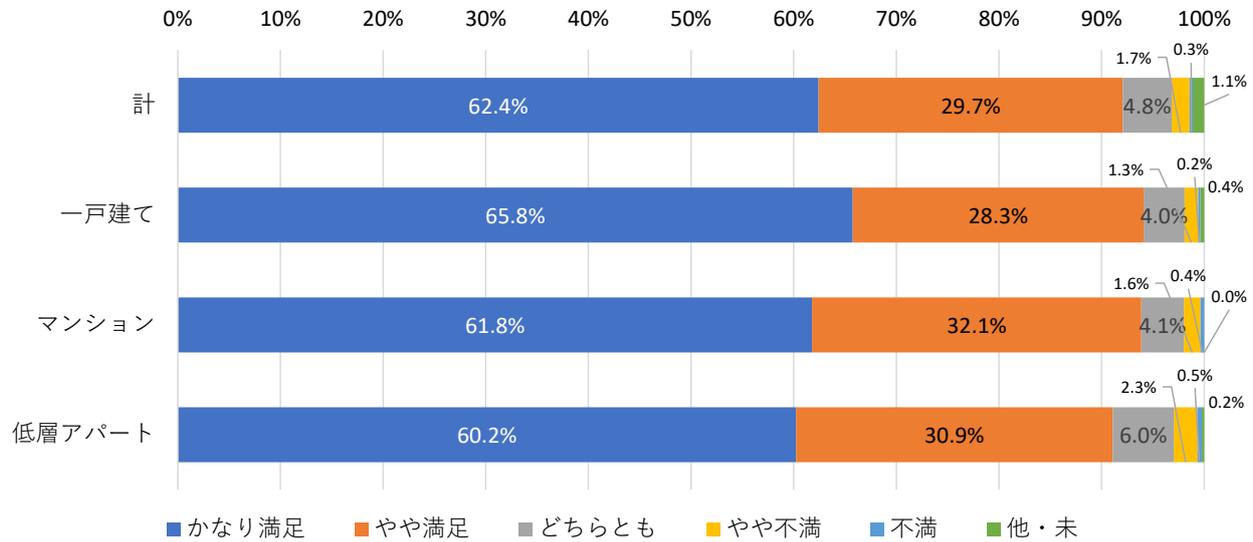


図3.5④ 暖房時の満足度と従前住宅の形式

### 3. 現在の住宅の満足度

#### (6) 夏期、冷房していない時（無冷房時）の快適性に対する満足度

##### ①満足度

無冷房時の快適性に対する満足度は、4か年計で、「かなり満足」44.0%、「まあ満足」37.8%、「やや不満」4.1%、「不満」1.3%であり、**80.7%が満足と回答している。**H30年度事業では「かなり満足」「やや満足」の合計が83.3%と最も多くなっている。

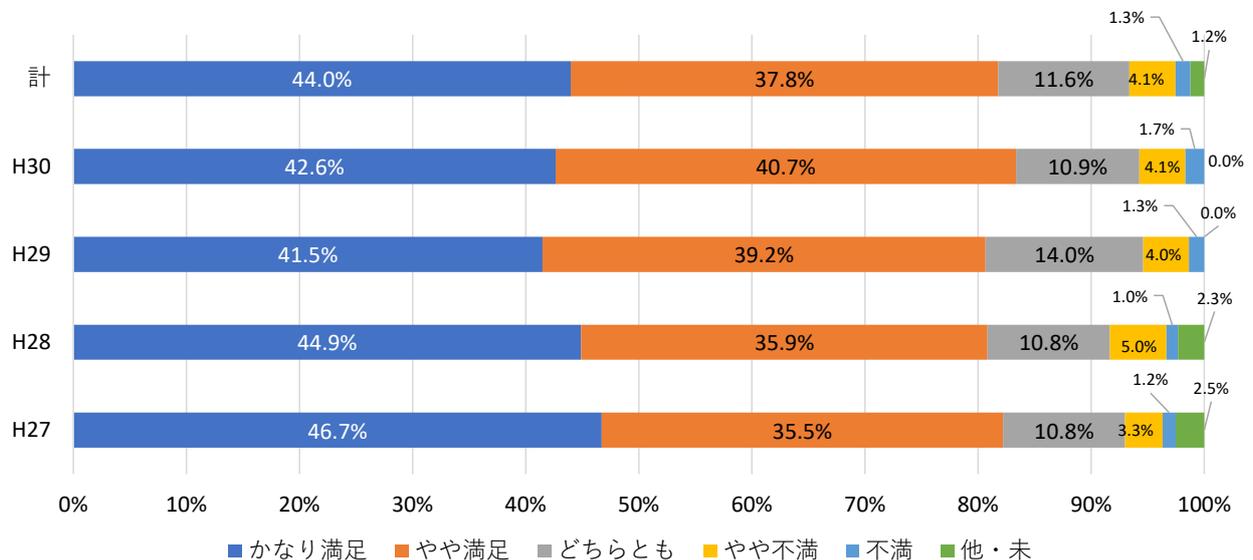


図3.6① 無冷房時の快適性に対する満足度

### 3. 現在の住宅の満足度

#### (6) 夏期、冷房していない時（無冷房時）の快適性に対する満足度

##### ②無冷房時の満足度と従前住宅の形式

無冷房時の快適性に対する満足度を従前住宅の形式別にみると、**一戸建ては「かなり満足」47.2%、「まあ満足」36.4%、「やや不満」4.0%、「不満」1.1%であり、83.6%が満足と回答している。**マンションや低層アパートよりも「かなり満足」の比率が高い。

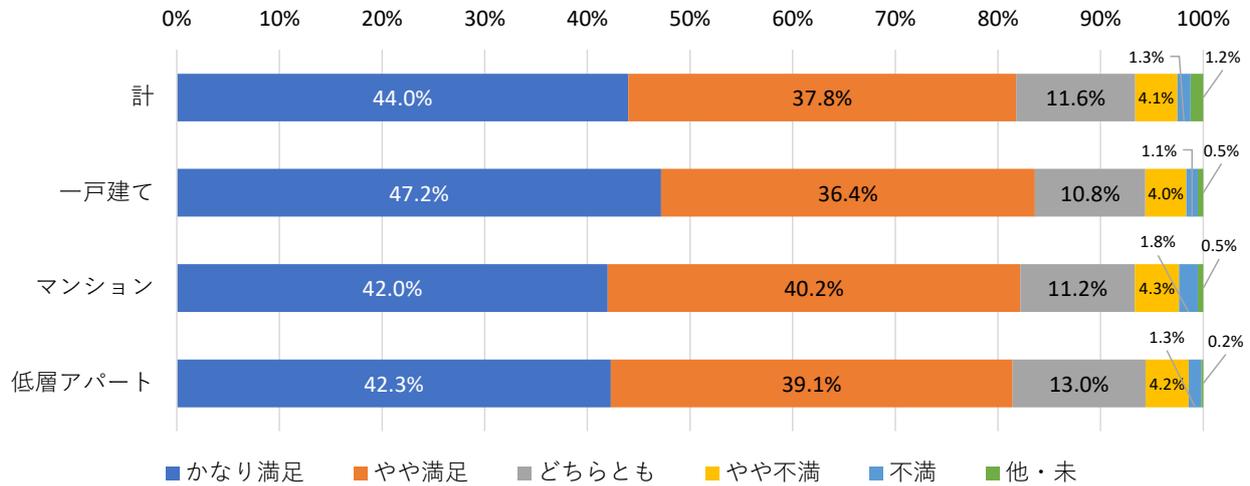


図3.6② 無冷房時の満足度と従前住宅の形式

### 3. 現在の住宅の満足度

#### (7) 夏期、冷房している時（冷房時）の快適性に対する満足度

##### ①満足度

冷房時の快適性に対する満足度は、4か年計で**「かなり満足」65.2%、「まあ満足」29.1%、「やや不満」0.8%、「不満」0.3%であり、94.3%が満足と回答している。**無冷房時より満足度が高い。各年度とも同様の傾向である。

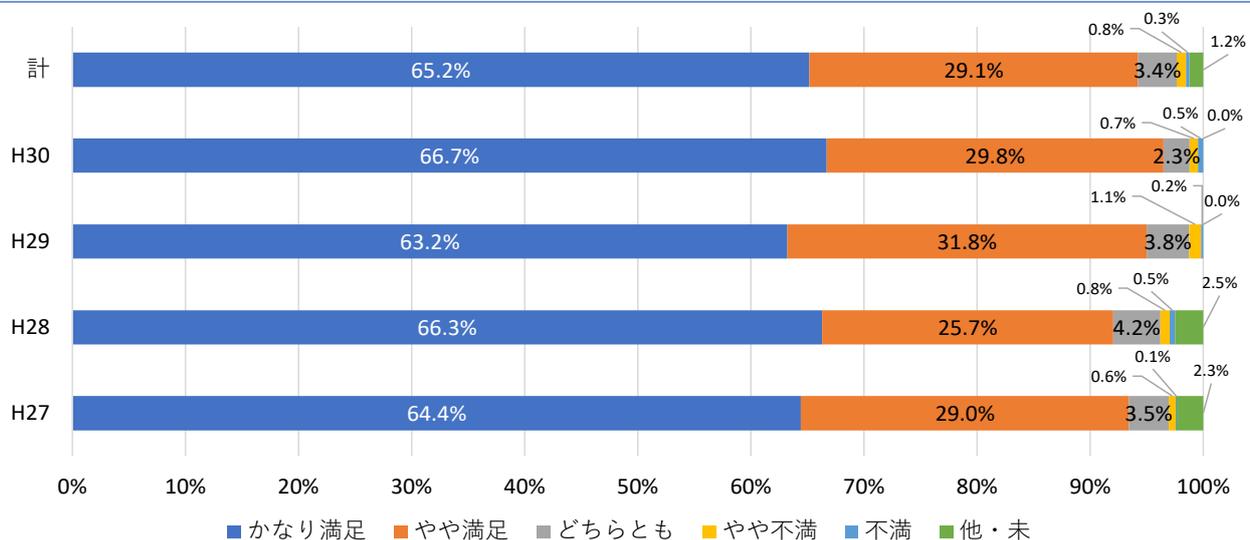


図3.7① 冷房時の快適性に対する満足度

### 3. 現在の住宅の満足度

#### (7) 夏期、冷房している時（冷房時）の快適性に対する満足度

##### ②冷房時の満足度とリビングの吹抜けの有無

冷房時の快適性に対する満足度をリビングの吹抜けの有無別にみると、「かなり満足」は吹抜け有64.8%、吹抜け無65.5%、「まあ満足」は吹抜け有28.3%、吹抜け無29.7%であり、吹抜けの無い場合の方が満足度が若干高い傾向となった。

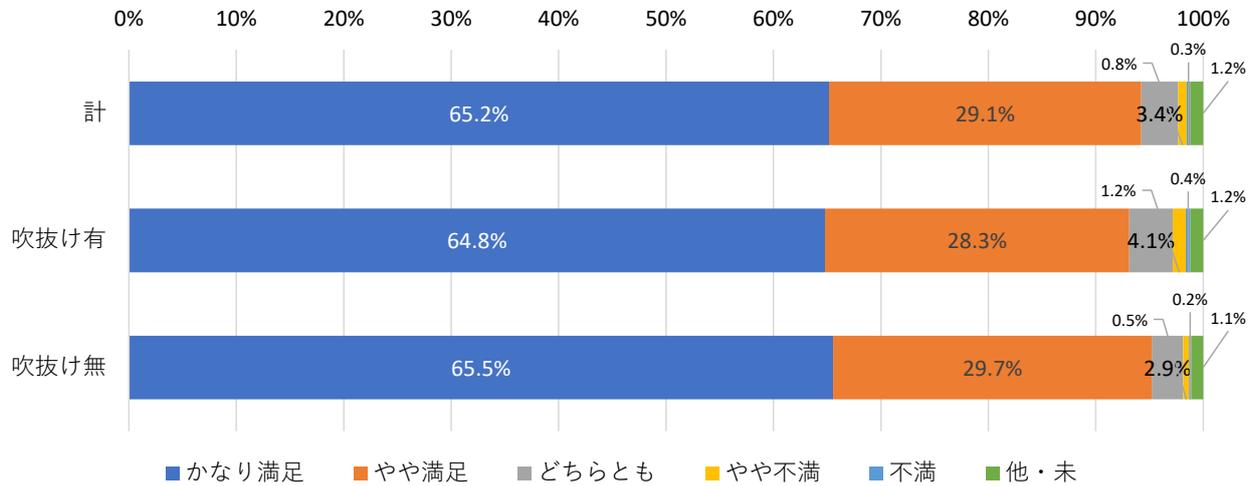


図3.7② 冷房時の満足度とリビング吹抜けの有無

### 3. 現在の住宅の満足度

#### (7) 夏期、冷房している時（冷房時）の快適性に対する満足度

##### ③冷房時の満足度と冷房設備（リビング）の運転方法

冷房時の快適性に対する満足度を冷房設備の運転方法別にみると、連続的に運転する場合で「かなり満足」67.7%、「まあ満足」26.4%であり、間欠的に運転する場合に比べ「かなり満足」の比率が高くなった。また冷房設備を使用しない場合は「かなり満足」51.7%、「まあ満足」19.5%である。

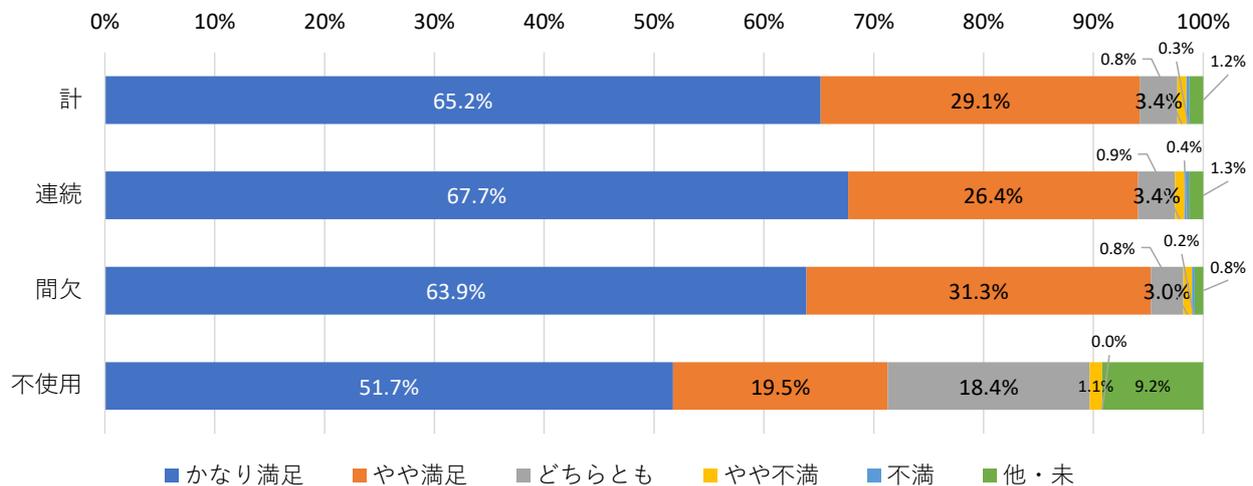


図3.7③ 冷房時の満足度と冷房設備（リビング）の運転方法

### 3. 現在の住宅の満足度

#### (7) 夏期、冷房している時（冷房時）の快適性に対する満足度

##### ④冷房時の満足度と従前住宅の形式

冷房時の快適性に対する満足度を従前住宅の形式別にみると、**一戸建ては「かなり満足」67.7%、「まあ満足」27.9%、「やや不満」0.7%、「不満」0.4%であり、95.6%が満足と回答している。**マンションや低層アパートよりも若干満足度が高い。

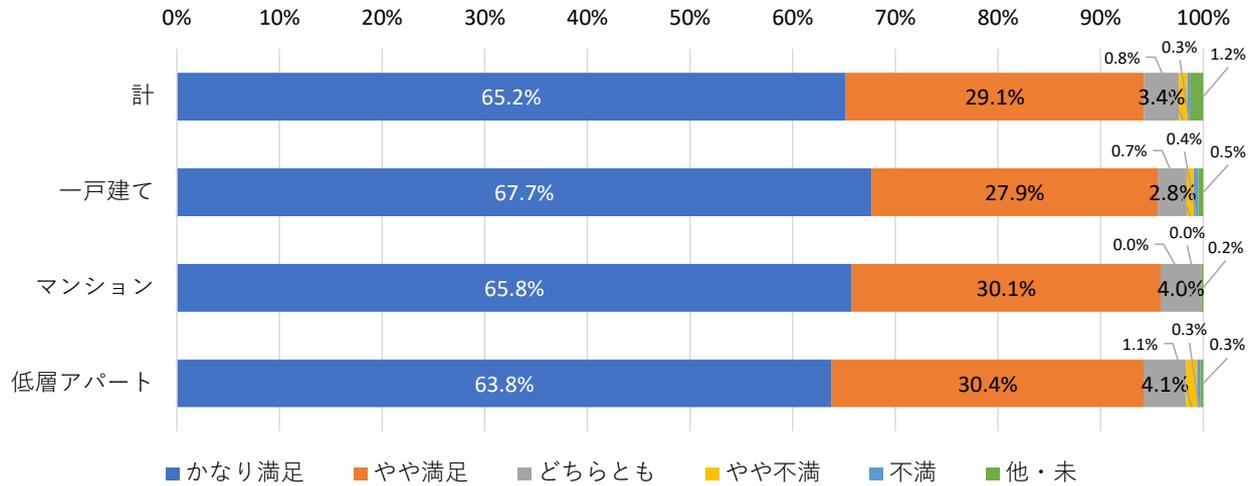


図3.7④ 冷房時の満足度と従前住宅の形式

### 4. 見える化設備

#### (1) 見える化設備の端末の種類

住宅に設置された見える化設備について、居住者が目にし、確認操作する端末の種類は、「**太陽光発電設備のモニター**」58.3%、「**HEMS専用端末**」23.1%、「**未回答**」12.0%である。H30年度事業では「**太陽光発電設備のモニター**」55.8%、「**HEMS専用端末**」27.1%となった。

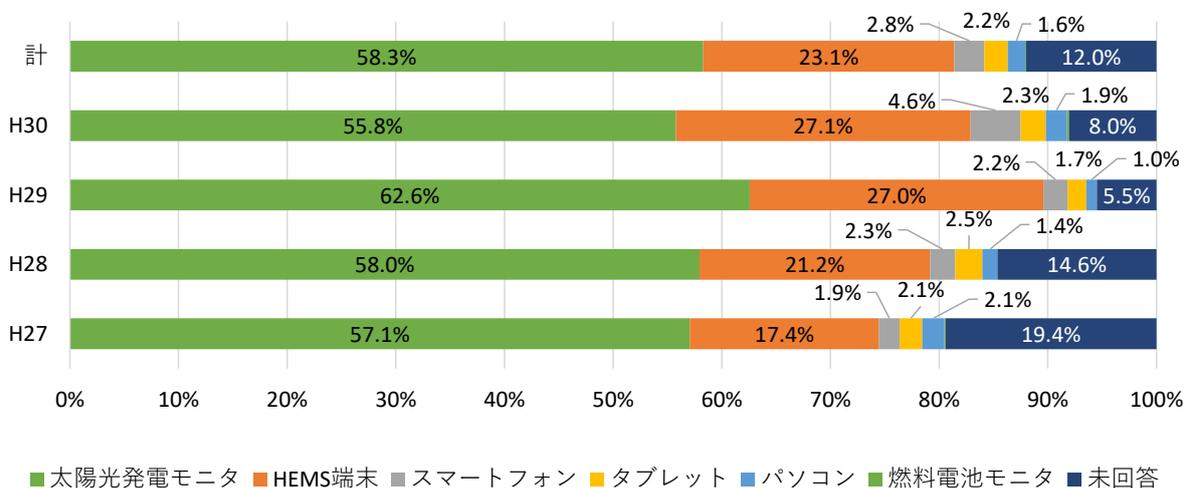


図4.1 見える化設備の端末の種類

## 4. 見える化設備

### (2) 見える化設備の確認頻度の変化

入居当初と約1年後で見える化設備の確認頻度を比較すると、入居当初は「よく見る」40.9%、「ほとんど見ない」11.4%だったが、1年後には「よく見る」9.3%、「ほとんど見ない」35.2%と逆転する。

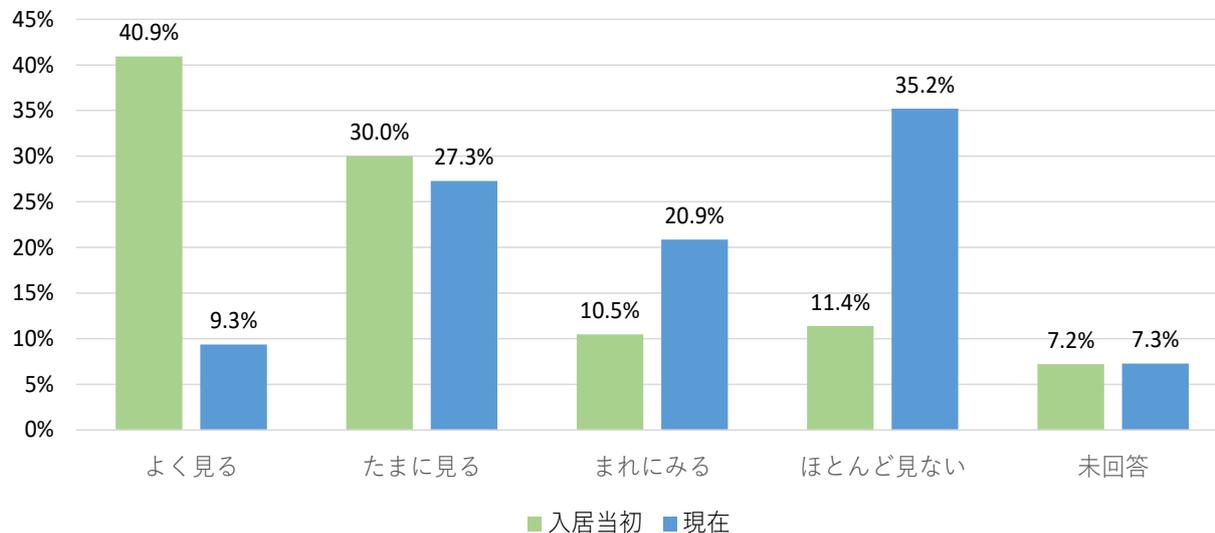


図4.2 見える化設備モニターを見る頻度の変化

## 4. 見える化設備

### (3) 見える化設備を見ない／見なくなった理由

当初より「見ない」、あるいは1年後に「見なくなった」理由として、生活が安定し**端末を確認しなくても省エネ取組める**ようになったという理由が**35.6%**と最も多い。一方、データの活用方法がわからない、端末の使い方がわからない、表示内容がわからないなど、「**活用方法がわからない**」はあわせて**20.6%**にのぼる。また「見たい情報がない」「飽きた」「面倒」なども理由として挙げられている。

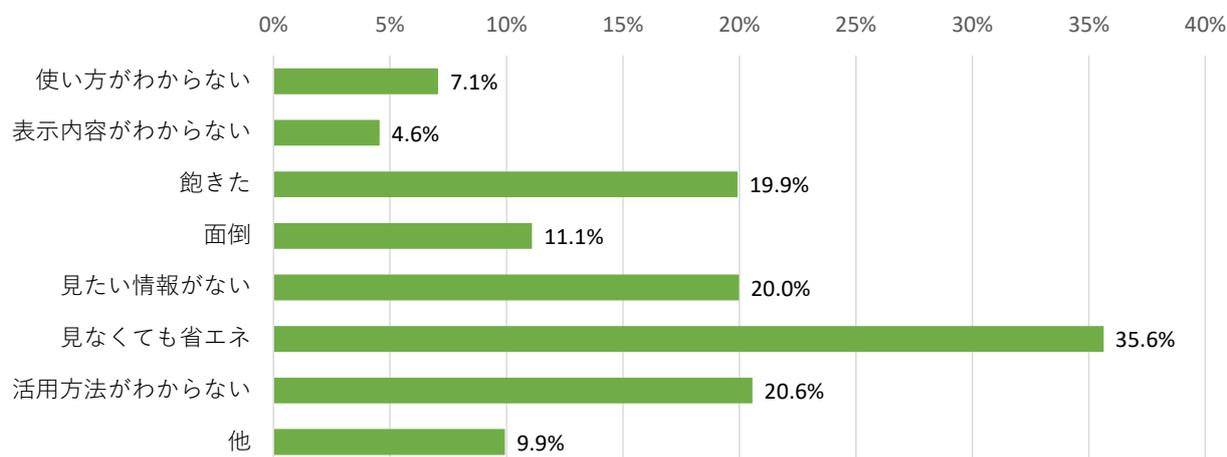


図4.3 「ほとんど見ない、見なくなった」理由

## 5. ゼロエネルギー・省エネルギーへの行動

実践しているゼロエネ・省エネに関わる行動としては、「使っていない照明をこまめに消す」73.1%、「家電製品をつけっぱなしにしない」56.8%、「省エネ家電の購入」46.0%となった。次いで冷暖房設定温度の調整、使用時間の短縮などの、暖冷房設備に関する取組みとなった。

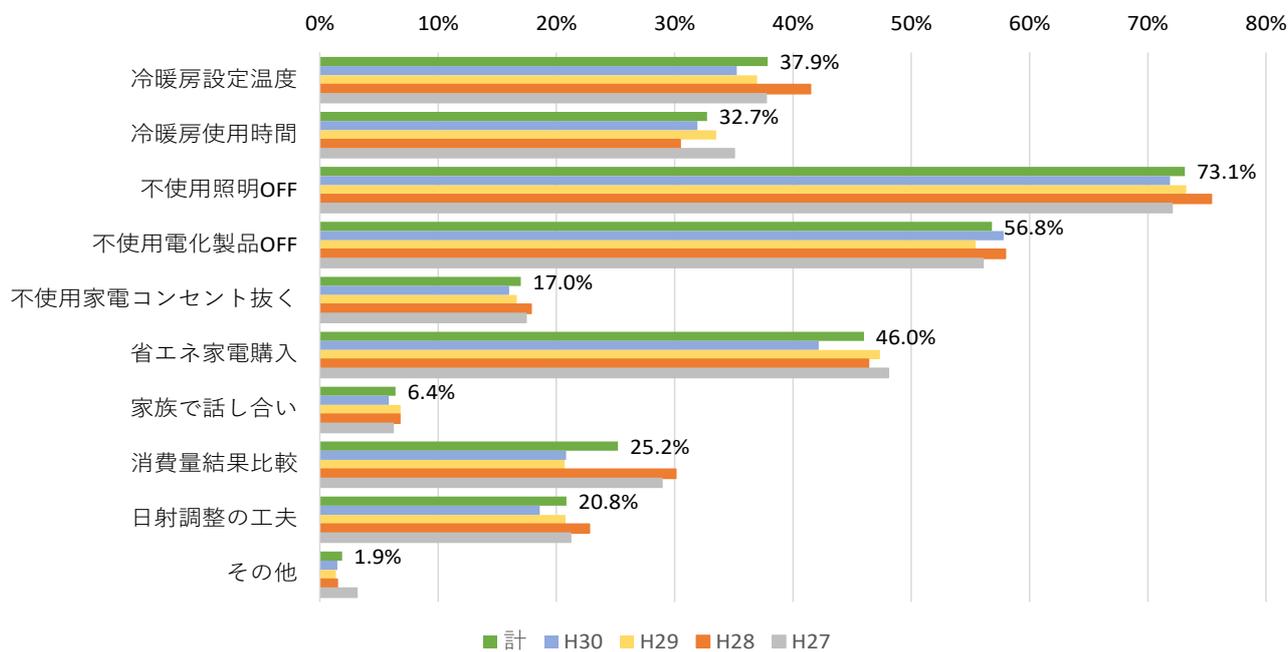


図5.1 ゼロエネ・省エネに関する行動